

50.11.15

No. 341

市民憲章

- わたくしたちは、豊かな緑と水を守り、潤いのある住みよい柏をつくるために、この憲章を定めます。
1. たがいに話し合って、心のかよう明るい柏をつくります。
 2. 老人を数い子どもを愛する、あたたかい柏をつくります。
 3. 環境をととのえ、安全できれいなまち・柏をつくります。
 4. 教育を重んじ、健康で、文化の薫り高い柏をつくります。
 5. 国際理解を深め、平和な柏をつくりましょう。

人のうごき 203,425人(前月より+546) 58,309戸(前月より+181)(50.10.31現在)

発行/柏市役所 柏市柏5丁目10番1号 編集/市長公室広報広聴課 毎月1日15日発行 TEL 67-1111内線223

地震の震度階

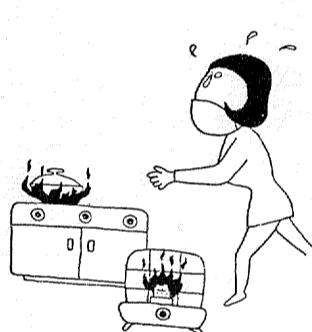
震度	0	無感	地震計だけに記録されるが、人体には感じない地震
1	微震	静止している人や、特に地震に注意深い人だけに感じた程度の地震	
2	軽震	大せいの人々に感じる程度のもので戸障子がわずかに動くぐらいの地震	
3	弱震	家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電灯のようなつり下げ物は相当にゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震	
4	中震	家屋の動揺が激しく、すわりの悪い花びらなどは倒れ、器内の水はあふれ出る、また歩いている人にも感じられ、多くの人々は戸外にとび出す程度の地震	
5	強震	壁に割目がはいり、墓石、石どうろが倒れたり煙突、石垣などが破損する程度の地震	
6	烈震	家屋の倒壊が30%以下で山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々は立っていることができない程度の地震	
7	激震	家屋の倒壊が30%以上におよび、山くずれ、地割れ、断層などを生ずる地震	

地震の時の心得

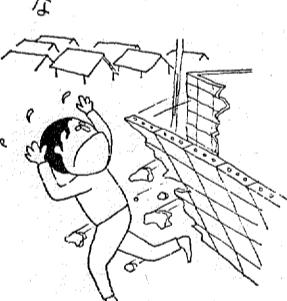
●あわてて外にとび出さない



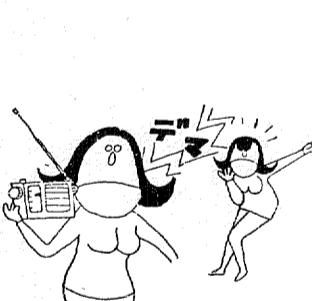
●なによりもまず火の始末



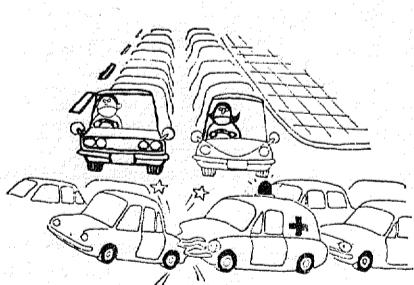
●狭い路地、へいのわき、がけには近寄る



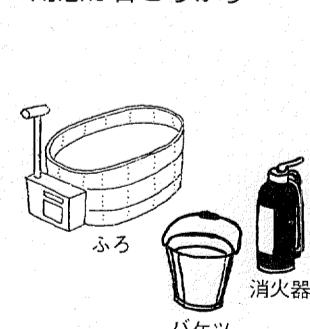
●「デマ」に迷わず確実な情報で行動を



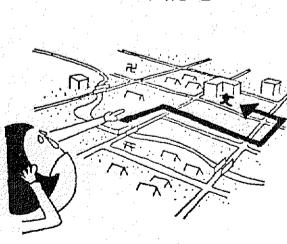
●避難は、車はやめて徒步で



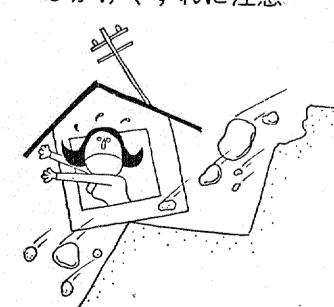
●消火器や防火用水の用意は日ごろから



●避難路の確認を



●がけくずれに注意



日本は、世界でも有数の地震国で、体に感じるものだけでも、一年間に、千回以上もあると言われています。それだけに、いつどんな所に地震がやってくるかわかりません。また、人口や産業の都市集中に伴い、石油やガスなどの危険物も都市に集積し、一度大地震が起きると、大きな被害が生じることが予想されます。幸い本市では、今まで大きな地震にあっていませんが、いざという時、震のさいの被害を最小限に止めるためにはどのようにしたらよいのか、市民一人一人が身につけておきたい地震対策をみてみました。

△初期消火に全力を

地震のとき、被害を大きくなるのは、火災です。なににおいても、まっさきに火を消すこと全効力をあげて下さい。大地震が発生すると、水道管は破れ、消防車も出動しにくい状況となり、大火災になりやすいのです。台所やふろなどを使っている火がありましたら、すぐに全部消しましょう。

△危険箇所から離れる

地震による強い揺れがあると、かんばんなどが落したり、石ベニやブロックがくずれる危険があります。地震が発生したら急いでそこから離れるようにして下さい。また避難する時は、そういう所

△初期消火に全力を

地震のとき、被害を大きくなるのは、火災です。なににおいても、まっさきに火を消すこと全効力をあげて下さい。大地震が発生すると、水道管は破れ、消防車も出動しにくい状況となり、大火災になりやすいのです。台所やふろなどを使っている火がありましたら、すぐに全部消しましょう。

△正しい情報を探す

地震になると、いろいろの風評やデマが流れるものです。しかし、それに迷わされることなく電池で聞ける(停電のとき便利)トランジスター・ラジオなどで確実な情報をつかむようにして下さい。

△避難場所・避難路の確認

大地震の場合、電話はまず使えなくなり、家を離れている人の連絡は不可能になります。そういう場合の落ち着く先や身を寄せせる場所をあらかじめ決めておきましょう。また、避難場所までのコースは、必ず一度は下検分をして下さい。

△消火器や防火用水の用意

初期消火でいちばん有効なのは消火器。家の広さや構造に適したものを準備し、使い方にも慣れておきましょう。また、ふろやバケツの中にはいつも水をたくわえておきましょう。

△室内の落物に注意

棚やたんすの上に無造作に物を置きがちですが、それがゆれて落

△商店街にいたら

窓ガラスや看板などが落ちてくるので、道路の中央を通りましょ。近くに広場があれば、一時そこに避難し、様子をみます。

△地下街にいる時

地下街は、地震に強いのでまず安心です。停電などになると大混乱を起すので、出口には殺到しそう。近くに広場があれば、一時そこに避難し、様子をみます。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちまします。

△鉄筋のビルにいる時

鉄筋コンクリートの建物に入る道路は混乱しています。また避難する人が混雑するので、自分の落物や倒れやすい家具、窓ガラスの破片などに注意し、避難する時はエレベーターを使わないで、また停止したエレベーター内では落ち着いて助けを待ちましょう。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちましょう。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちましょう。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちましょう。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちましょう。

日ごろから「地震」の対策を

△大ゆれは一分前後

どんなに大きな地震も、大ゆれは一分前後といわれています。だからあわてないで、周囲の様子を正確に見とどけて、そのあとでの動を考えるようにしましょう。

△がけくずれに注意

山の一部を切りくずし、谷をうねて宅地造成したようなところは「がけくずれ」の危険があります。山ぎわ、がけ近く、造成地などに住んでいる人は、すぐに安全な所へ避難し、様子をみましょう。

△鐵筋のビルにいる時

鐵筋コンクリートの建物に入る道路は混乱しています。また避難する人で混雑するので、自分の落物や倒れやすい家具、窓ガラスの破片などに注意し、避難する時はエレベーターを使わないで、また停止したエレベーター内では落ち着いて助けを待ちましょう。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちましょう。

△電車に乗っている時

地下鉄は、耐震性、浸水などに万全の処置がとられています。電車は、地震の時は、一時止まることがあります。また停止したエレベーターでは落ち着いて助けを待ちましょう。

△外出先で地震にあつたら

あわててすることになります。一度きれいに整理しておいて下さい。

△非常用品の用意を

品などを用意しておきましょう。

「備えあれば憂いなし」。いざとあわてすることになります。一度

いう時のために、常日ごろから非常用品の用意をしておきましょう。

△野良仕事をしていたら

周囲に倒壊物がなければ一応安全。かけの上や下にいたら、そぞれを離れて下さい。

△衛生に注意しましょう

大地震の時は、その災害を、一人で防ぐとか、逃げ切ることはできません。また止まり、エンジンを切って様子をみましょう。

△秩序を守り

自ら勝手な行動はやめ、お互いに迷惑を考え、助け合って秩序を保つように心がめましょう。

